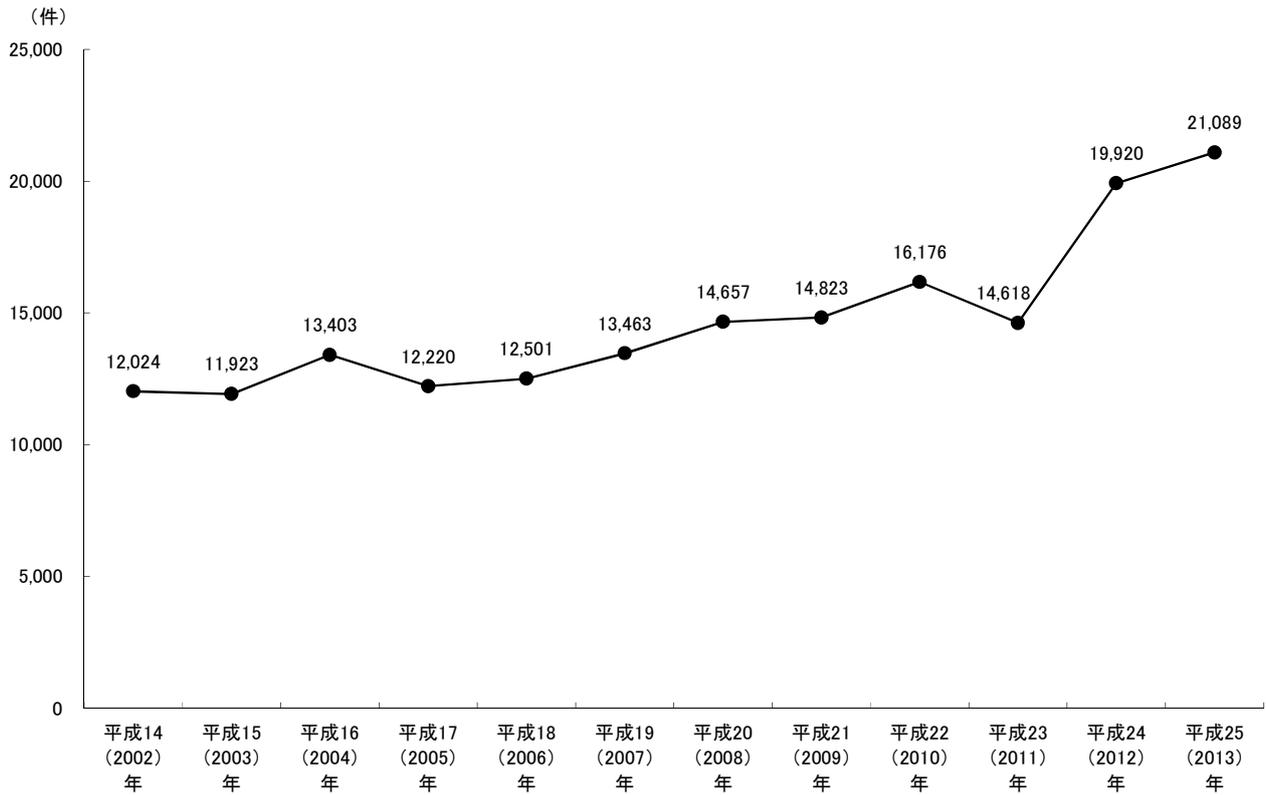


IV-2 性暴力ストーカー等の防止

1. ストーカー事案の認知状況

警察が認知したストーカー事案の件数は、平成 24 (2012) 年に 1 万 9 千件に達し、平成 25 (2013) 年は 2 万件 (21, 089 件) を超える結果となっている。

図表IV-2-1 ストーカー事案の認知件数の推移 (全国)



注：認知件数には、執拗なつきまといや無言電話等のうち、ストーカー規制法やその他の刑罰法令に抵触しないものも含む。

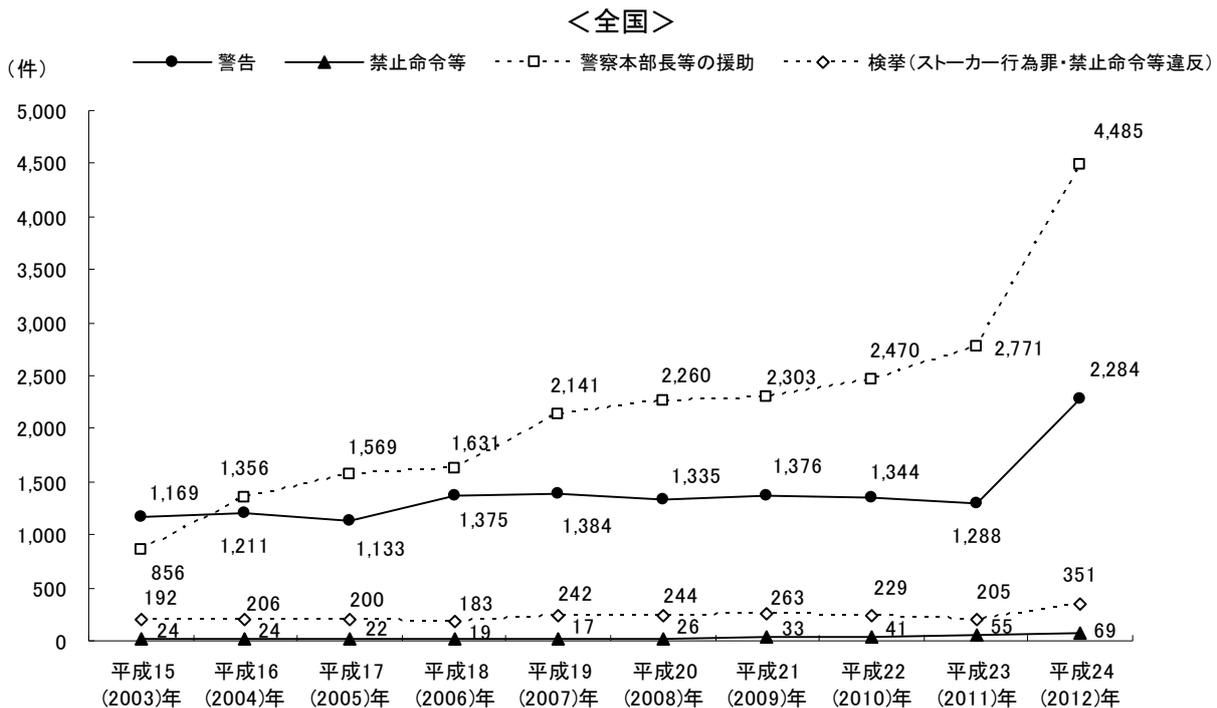
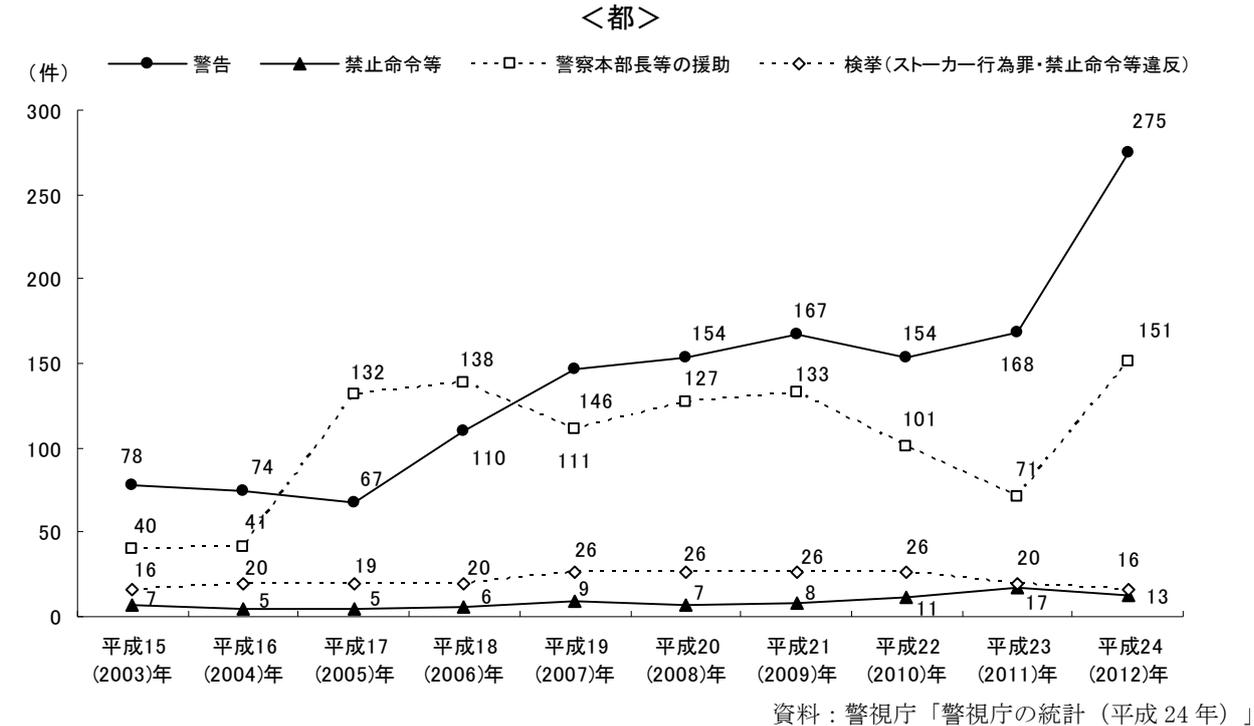
資料：警察庁「平成 25 年中のストーカー事案及び配偶者からの暴力事案の対応状況について」

IV 人権が尊重される社会の形成

2. ストーカー規制法の適用状況

ストーカー規制法の適用状況をみると、都では平成24(2013)年には「警告」が275件で最も多く、次いで「警察本部長等の援助」が151件であった。全国では平成24(2012)年には「警察本部長等の援助」が4,485件で最も多く、次いで「警告」が2,284件。いずれも対前年比6割以上の増加となっている。

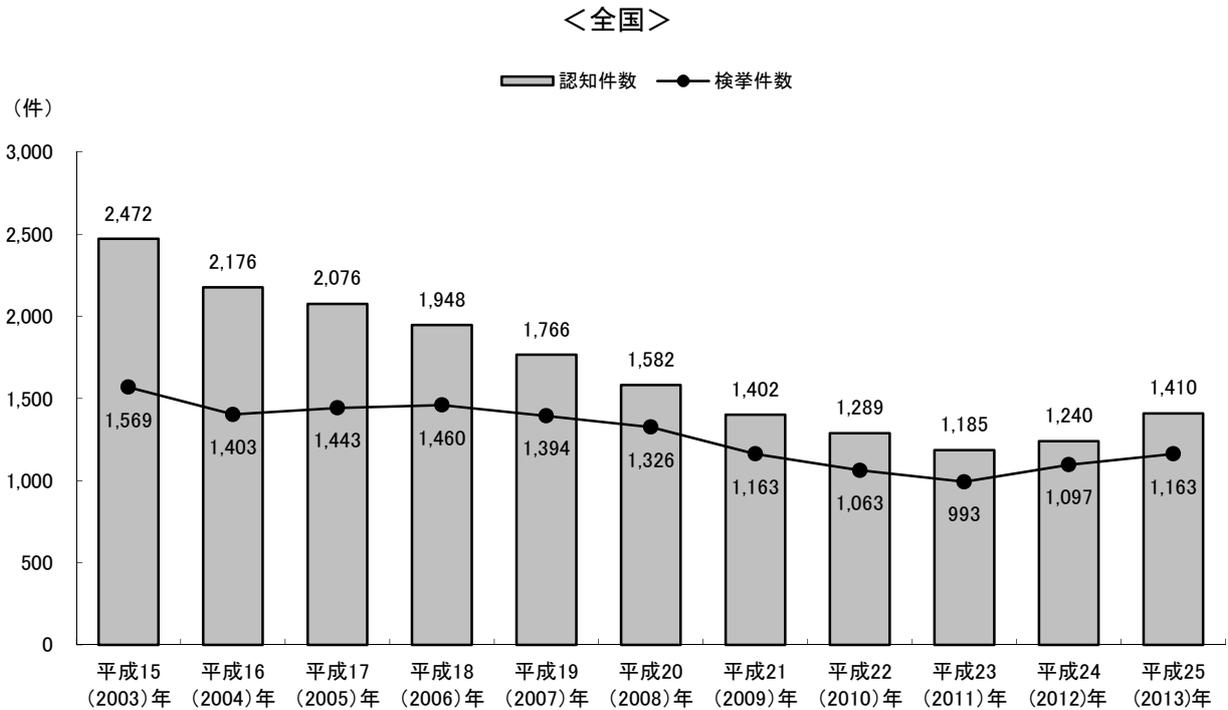
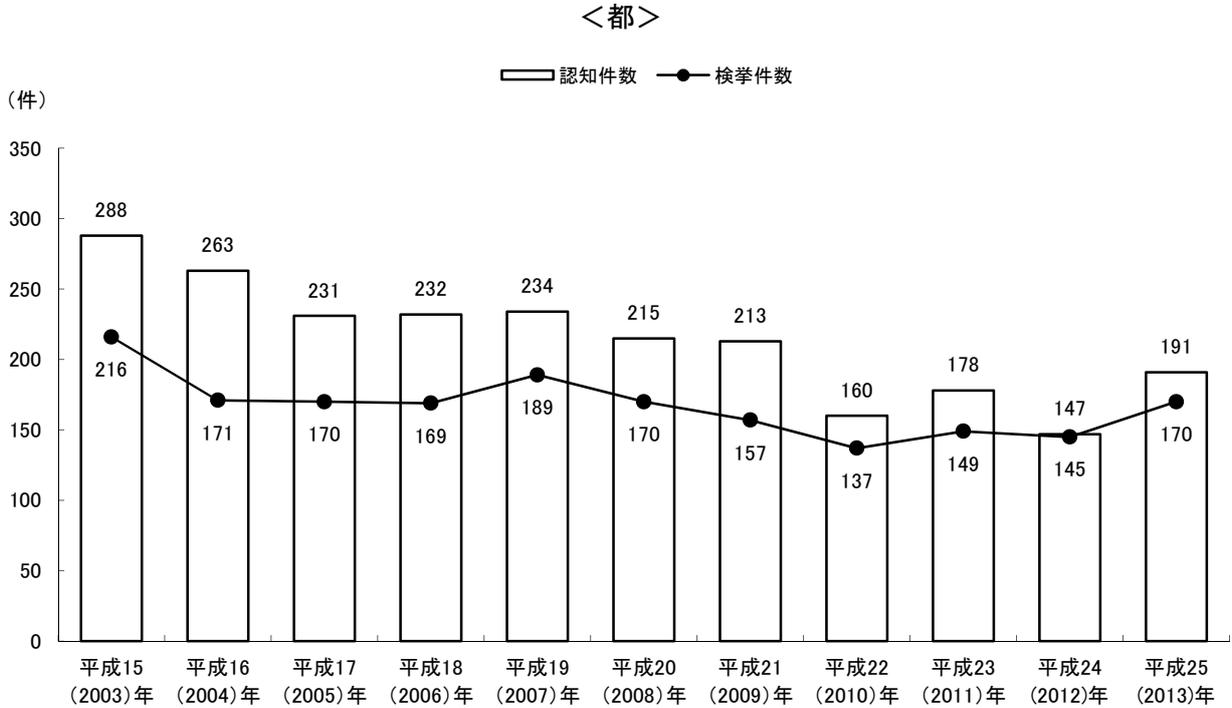
図表Ⅳ-2-2 ストーカー規制法の違反等措置状況の推移(都・全国)



3. 強姦、強制わいせつ事件の認知件数及び検挙件数

平成 25 (2013) 年の強姦事件の認知件数と検挙件数は、都では認知件数が 191 件、検挙されたのは 170 件である。全国では認知件数が 1,410 件、検挙されたのは 1,163 件である。

図表IV-2-3 強姦事件の認知件数と検挙件数の推移 (都・全国)

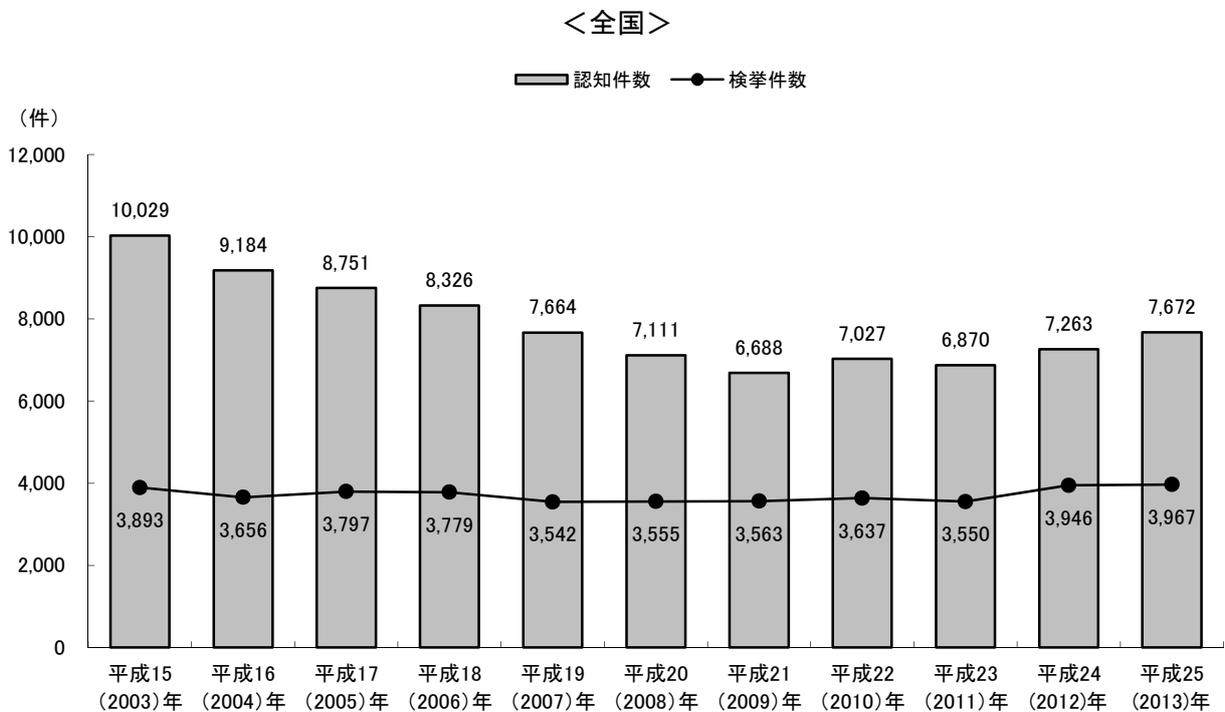
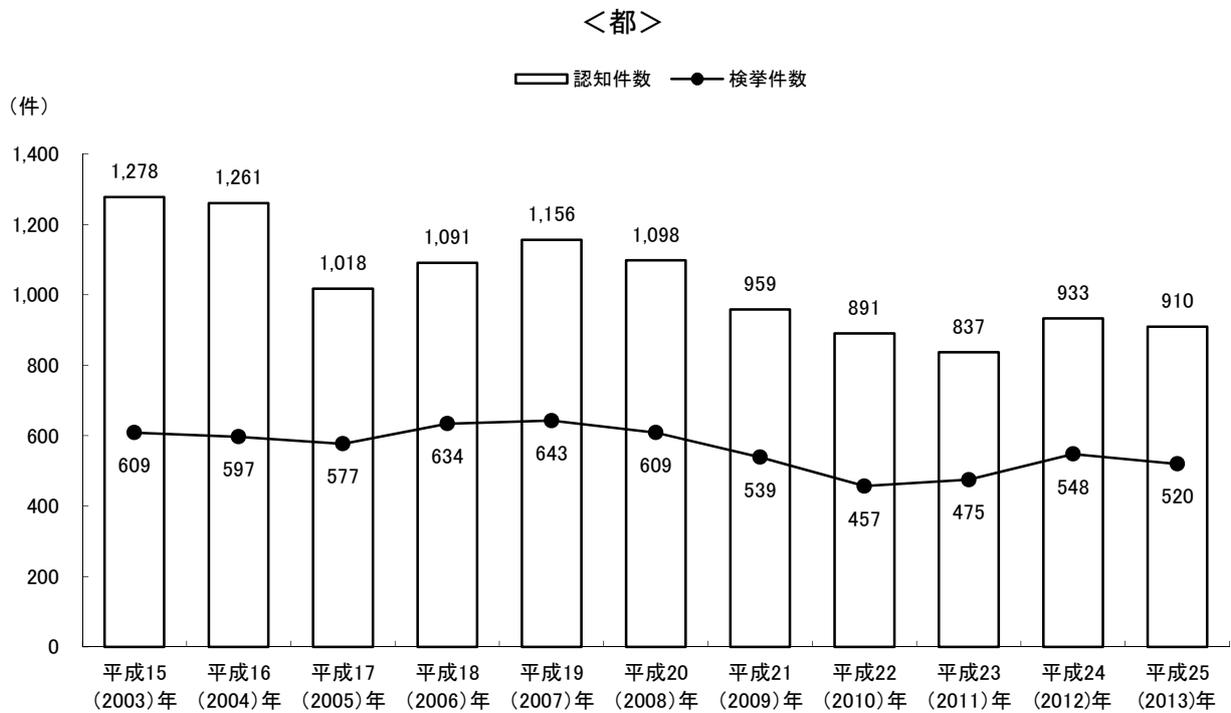


資料：警察庁「犯罪統計資料」(平成 25 年)

IV 人権が尊重される社会の形成

平成 25 (2013) 年の強制わいせつ事件の認知件数と検挙件数は、都では認知件数が 910 件、検挙されたのは 520 件である。全国では認知件数が 7,672 件、検挙されたのは 3,967 件である。

図表Ⅳ－２－４ 強制わいせつ事件の認知件数と検挙件数の推移（都・全国）



資料：警察庁「犯罪統計資料」（平成 25 年）